

ふれあい曾山医院

2005年5月号(第36号)

発行人：曾山 信彦

兵庫県淡路市志筑1391-9

Tel: 0799-62-5566

http://www.h6.dion.ne.jp/~soyama

認知症とは

いわゆる「痴呆症」のことです。昨年「痴呆」という言葉には蔑視的意味を含み見直して欲しいという要望があり、厚生労働省が検討、今後「認知症」を一般に普及していこうということになりました。

さて、高齢になると誰でも多かれ少なかれ物忘れの症状がでてきます。気になる方は表1でチェックしてみましよう。最近では認知症患者は156万人、85歳以上の高齢者4人に1人といわれるまで増加しています。ここで注意が必要なのは

表1

- ①同じ話を無意識にくり返す
- ②知っている人の名前を思い出せない
- ③物のしまい場所を忘れる
- ④漢字を忘れる
- ⑤今しようとしていることを忘れる
- ⑥器具の取扱説明書を読むのを面倒がる
- ⑦理由も無いのに気がふさぐ
- ⑧身だしなみに無関心である
- ⑨外出をおっくうがる
- ⑩物（財布など）が見当たらないことを他人のせいにする

ほとんどない0点 ときどきある1点
ひんぱんにある2点

合計 点

0～8点 正常
9～13点 要注意
14点以上 認知症のはじまり？

表2

認知症	物忘れ
病気が多い 進む事が多い 忘れるのは体験自体 物盗られ妄想など精神 しばしば自覚していない	病気ではない 半年～一年では変化なし 忘れるのは体験の一部 他の精神症状を伴わない 自覚がある

のは物忘れと認知症は別のものだということ（表2参照）物忘れは老化に伴う生理的なもので心配はいりません。予防も可能でメモを取るなどうまく付き合っていくとよいでしょう。その一方で認知症は病的なもので、記憶、判断力などに障害がおこり自立した社会生活が送れなくなってしまう。重症の場合は介護が必要で家族への負担が深刻になる場合も少なくありません。

認知症には①アルツハイマー型▼原因不明で脳が病的に萎縮し高度な知能低下や人格破壊がおこります。ゆっくり発症、徐々に悪化します。②脳血管型▼脳の血管が詰ったり破れたりすることで起ります。脳卒中の発作がおこるたびに悪化。人格や判断力は保たれていることが多いと言われています。③その他▼脳腫瘍、慢性硬膜下血腫（転倒した際にできる血腫）廃用性症候群（何もしないことによる精神的身体的衰え）などがあります。

認知症の種類によって対処法も異なり、脳血管型ではその原因となる脳梗塞の予防が大切です。アルツハイマー型では悪化する前の早期に薬を飲む事で症状の進行を遅らせることができることもあります。

このように治療すれば改められますので、「おかしい善するケースもあり、また本人や家族にも今後の対応、準備ができる余裕も生

れな？」と思ったら早めに当院に御相談下さい。

（看護師 岡崎博子）

ことば

接遇対応は患者様により良い治療を受けていただく為に欠かせないものです。「挨拶」「笑顔」「動作」「言葉」どれも大切ですが言葉が一番難しく感じます。

言葉は素直な気持ちの置き換えです。例えば体調が悪い時にそのままの気持ちで対応をしまえば、その状態が言葉にそのまま表れてしまうこともあるのです。逆に誠意を持ち、心を込めた言葉は患者様の苦痛や不安を和らげることができるかもしれません。

私達はそういった接遇を目指しています。これからも心を込めた言葉で患者様とお話していきたいと思ひます。

- *言葉つながりの余談(花言葉)*
- ・カーネーション：純粋な愛情。
- ・すずらん：繊細。

時には可憐な花々に想い(言葉)を添えて伝えるのもいいかもしれませんね。

(接遇委員会・医療事務 荷出 真巳)

「ボケ」予防の十ヶ条

- 一. 塩分と動物性脂肪を控えてバランスのよい食事を
- 二. 適度に運動を行い、足腰を丈夫に
- 三. 深酒とタバコをやめ規則正しい生活を
- 四. 生活習慣病の予防、早期発見、治療を
- 五. 転倒に注意、頭の打撲はぼけを招く
- 六. 興味と好奇心をもつように
- 七. 考えをまとめて表現する習慣を
- 八. こまやかな気配りをしたよい付き合いを
- 九. いつも若々しくおしゃれ心を忘れずに
- 十. くよくよしないで明るい気分で生活を

